

美術科 第1学年 学習案内

1 使用教科書・使用教材

《教科書》 中学校美術1 (日本文教出版)

《使用教材》 美術資料

《使用道具》 鉛筆 スケッチブック 色鉛筆 美術ファイル アクリル絵の具 ※水彩絵の具

2 学習目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てると共に、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

(1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。

(2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。

(3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。

3 評価の観点・方法

評 価 の 観 点		方 法
知識・技能	形や色彩の効果等を理解し、素材や用具を適切に使い、構想に沿って丁寧に表現する力や、工夫・応用し制作する力等を評価します。	作品、制作ワークシート、レポート等、テストの内容
思考・判断・表現	課題の条件や主題に応じてアイデアを発想したり、計画を立てたり、色や形や材料等の工夫を様々に考えたり構想する力等を評価します。	作品、制作ワークシート、レポート等、テストの内容
主体的に学習に取り組む態度	題材や課題に関心を持ち、進んで表現や鑑賞等の創造活動に取り組む姿勢を評価します。制作の進捗や用具や材料の準備、片付け、提出物の内容等を中心に評価します。	作品、制作ワークシート・振り返りレポート等の提出と内容、制作の進捗、テスト、授業態度

4 第1学年学習計画

	題 材 名	主 な 学 習 内 容	学 習 の ね ら い ・ 評 価 具 体 例
前 期	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・美術に対する心構え ・授業のルール 	美術に対する心構えと授業のルールや約束事を知り、理解することができる。
	学級旗デザイン(絵)	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインの効果を考えた図案や色彩の構成 	学級目標、学級の特徴、担任の先生から発想し、単純化、強調、省略等を考え学級旗をデザインし、彩色することができる。
	身近な世界をじっくり見てみると(絵)	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な世界を観察 ・スケッチを基に描く ・配色や構図の基本 	対象の形・色彩の特徴や美しさなどをとらえ、自分なりの方法でスケッチの表現ができる。
後 期	見てみよう！今のキモチ(絵)	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画表現(モダンテクニックなど)の多様性や単純性、偶然性等を味わう 	さまざまな描画技法の体験を通して、自分なりの方法で楽しんで表現することができる。
	瞬間をとらえて！(造)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常のある一瞬を切り抜き、その場面をさまざまな素材で立体的に表現する。 	身近なものを深く観察し、よさや美しさを感じ取り、スケッチや立体表現に取り組むことができる。
	模様で広げる世界(造)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然物からのデザイン ・スタンプによる構成 ・篆刻等の工芸的手法 	自然物の美しさやおもしろさを感じ取りながら造形活動に親しむことができる。